

Trait d'union

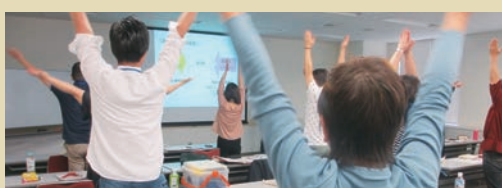
トレデュニオン

No. **70**
2022-8



SHOE FITTER[®]

- シニア専門コースがリニューアル！ 2
- 2022年度日本整形靴技術協会 研修会案内 3
- 新マスターシューフィッターのいるお店
「アルプスシューズ」 4-9
- SFC 東日本支部補習講座
高齢者に見られる足の問題 10-14
- 第25回定時総会概要報告 15
- SFC 東日本支部補習講座
靴選びにも活かせる！ パーソナルなサービスとは 16-19
- 海外展から読む 2022～23年秋冬シューズトレンド 20-23
- 事務局便り 24



シニア専門コースがリニューアル!

今年度からシューフィッター養成講座シニア専門コースが、実習を加えてより実践的な講座に生まれ変わります。

今回、大幅なテキスト改訂とカリキュラムの変更を行いました。「明日から、もっと高齢者の気持ちに寄り添った接客ができる。」と毎回、受講生から好評の高齢者疑似体験実習に加え、実際にシニアモデルに会場にお越しいただき、フィッティング実習を行います。

高齢者のたいへんさを自分で実感できる疑似体験と、モデルによるシューフィッティング実習により、フィッティングに対する理解をさらに深め、技術の向上をはかります。新しくなるシニア専門コースにご期待ください! 皆様の受講をお待ちしております。

第11回
申込み
受付中

日程：2022年11月8日(火)、9日(水)
会場：東京・両国 国際ファッションセンター
受講料：72,600円(税込)

シニアモデルによる
フィッティング実習!



2022年度 日本整形靴技術協会 研修会

足を診る道具を使いこなす！

三種の神器(方法)の **極意** を伝授

2022年 9月7日 水 11:00▶16:30 (10:30受付開始)

トリットシャウム



講師：島村雅徳 先生
(株式会社シンビオシス)

フットプリント



講師：Behle Lutz 先生
ドイツ整形外科靴マイスター
通訳：パーレ・操 先生
(株式会社フィートバック)

足型計測



講師：原田繁 先生
(一般社団法人
足と靴と健康協議会研究員)

当会のバachelorコース「パッキングワーク」講師で、SFC補習講座でもいつも満員御礼の新潟医療福祉大学、阿部薫先生が会長を務める日本整形靴技術協会(IVO)研修会のご案内です。

コロナ禍により延期されていたIVO研修会の開催日が9月7日(水)に決定いたしました。久しぶりのリアル開催になります。「足を診る道具を使いこなす! 三種の神器(方法)の極意を伝授」をテーマに足型計測の講座が3本も開催されます。当会認定のシューフィッターは一般価格の半額の5,000円(税込)で全ての講座に参加できます。これまでに無い盛り沢山の内容でとってもお得です。

トリットシャウムとフットプリント、ペドカルテの3つを活用して足の情報を総合的に分析することにフォーカスを当てた研修会となります。ペドカルテの講座は当会の原田研究員が担当いたします。2月にオンラインで開催したIVO学会講演のフルバージョンで、FHAの足型計測を深く掘り下げて解説いたします。実習カリキュラムもあり、シューフィッターの方なら誰もが楽しめて勉強になる、充実した内容となっております。

詳細はこちら



お申込み、お問合せは下記までお気軽にどうぞ

日本整形靴技術協会 研修委員長 阪田 茂宏(さかた しげひろ)
〒665-0035 兵庫県宝塚市逆瀬川1-2-1 アピア1-1F コンドル
TEL/FAX: 0797-71-2372 E-Mail: sakata@pc4.so-net.ne.jp

新 マスターシューフィッターのいるお店

東京・巣鴨 「アルプスシューズ」 小林 徹司 氏



立派なマスター認定証(楕)

巣鴨駅の北口ロータリーを抜けて少し歩くと、巣鴨地藏通商店街入り口の立派なアーチがあります。取材日は酷暑のためか「おばあちゃん原宿」におばあちゃんは少なく、ベビーカーを引いた赤ちゃん連れのお母さんや、下校する小学生や中高生と若い方が多かったです。



若い方が多かったです(笑)

駅から5分くらいのアルプスシューズに行く間にも、福福まんじゅうで有名な駿河屋さんや、塩大福で有名な伊勢屋さんなど名店がずらり！



駿河屋さん



伊勢屋さん

賑やかな商店街を少し行くと有名な高岩寺(とげぬき地蔵尊)があります。



とげぬき地蔵



巣鴨の新名所かき氷工房「雪業」さん酷暑の平日に大行列！



イメージ通りの巣鴨(笑)

とげぬき地蔵尊の真向かいに新しくマスター・オブ・シューフィッシングに認定された小林徹司さんのお店「アルプスシューズ」があります。店名の由来は創業者であるご両親の出身が長野県だからだそう、納得！



FHAの前身、日本靴総合研究会(JIF)のPOP。歴史を感じます。



広々とした綺麗な店内

25坪の店内には、2,500円のケミカルから50,000円弱の本革ブーツまで、本当に多くの商品が並んでいます。商品構成ごとにブロックがキッチンと分かれていて、雑多な感じは全くありません。とてもスッキリとした見やすい店内です。



■ 店内紹介 ■ 一番奥は絨毯敷きの接客スペース。マスターシューフィッターがしっかりとお客様の足と向き合います。



豊富な品揃え



一番奥は絨毯敷

■ ケミカルコーナー ■

定番商品がずらり。雪駄もあります。



ファスナー付きのウォーキングシューズは当店が発祥だったってご存じですか？詳しくはアルプスシューズのHPをご覧ください。

■ **革靴コーナー** ■ こちらのコーナーにも座り心地の良い大きなベンチを置いて、広い試着コーナーがあります。基本的に全てのお客様をフィッティングして履き心地を確認しています。この接客スタイルが他店との差別化に繋がります。



おしゃれな靴がいっぱい！



ルームシューズは販売もしています！

小さいサイズ (21.5cm) コーナーもあります。



圧倒的なボリュームの on の展開！小林さんご自身も on を履いて接客されています。もっと驚いたのは on を展開する小林さんの深い考え。クラウドという写真の商品は紐がゴムになって一回一回結ばなくても高いフィット感が得ることができます。そして世界が認めるソールのクッション性に軽さ…小林さんは「on はおばあちゃんの足にもフィットする靴=巣鴨でも売れる」という考えで on の展開を決めたそうです。新しい客層を新規開拓しつつ、既存のお客様にもフィットするアイテムとして on を捉える小林さん。この目の付け所、さすがマスター！





アルプスシューズのFacebook。
オレンジのonがめちゃくちゃ素敵！
右はお茶目な小林さん(笑)

小林さんもon



一番奥の絨毯敷きスペース。フローリングとキッチンとスペース分けすることによって落ち着いた雰囲気です。お客様はフィッティング時にルームシューズに履き替えます。フィット感を体感することによって販売にも繋がります。こういった商売の知恵もマスターですね！



マスターシューフィッターがしっかりと診てくれます。

専用の計測台
このために
オーダー！



ビジュアルで見せることでお客様の理解が深まります。



解剖のこともしっかり説明します。



マスターの認定楯をはじめ、小林さんの輝かしい実績が一堂に！



ながあ〜い

今年 2 月の改装の目玉、8m 通路。マスターコースでみっちり勉強した歩行解析をシューフィッティングに活用するために設置したそうです。お客様の歩容をしっかりと確認することができます。



オリンピック
アスリート選手が履いてる
「on」 swiss
ニコラ・スピリ

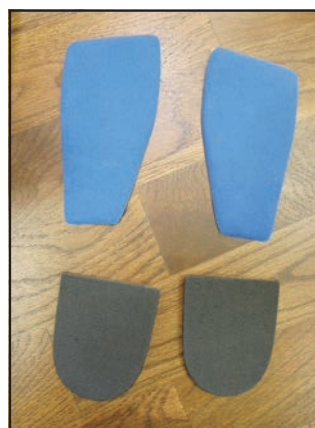


手書きPOP。デジタルの時代だからこそ新鮮に感じます。温かみがあっていいですね!

取材中も多くのお客様がご来店されたのですが、驚いたのが全てのお客様が購入されたこと。小林さんのお人柄そのままの、押し付けではない、柔らかく優しい接客がお客様を惹き付けていました。



取材中にご来店のお客様の購入率100%!!



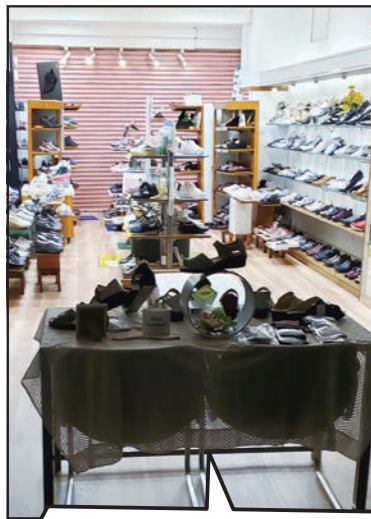
マスターコースで学んだことも、これからドンドン取り入れていきたい!



2階には
ストックが
ぎっしり！



グラインダーも



閉店。お疲れさまでした。

夜の巣鴨地蔵通商店街は
とても綺麗！



美味しかった
(^o^)



小林徹司

持って重いけど履くと軽い靴が良い靴

■取材後記■

新しくマスターシューフィッターに認定された小林さんは、養成講座でも数々の講義をご担当されたシューフィッターの大先輩です。その小林さんが「当店には靴歴60年の先輩がいるから、私はまだまだ」と謙遜するほどの人材が揃った「アルプスシューズ」、巣鴨という古き良き日本が残る街に溶け込み、人情の温かさを大切にしながら、SNSやデジタルを積極的に取り入れ活用する。穏やかで優しいお人柄の奥に潜む良い意味での貪欲さが当店の強みだと思いました。

コロナ禍で売上が激減して本当にたいへんな時期もあったそうですが、雇用を守るために給付金や支援金を活用して営業はずっと続けてきたそうです。だいぶ落ち着いてきて客足も戻りつつありますが、ご自身の経験を踏まえて「今でもいろんな制度があるから活用して欲しい。」と小林さんは言います。アフターコロナを見据え、靴業界全体を盛り上げていきたいという小林さんの気持ちがマスターシューフィッターだな、と印象的でした。

取材後は巣鴨のB級グルメを堪能しながらの足靴談義で盛り上がりました。ごちそうさまでした(^-^)

報告者 FHA 研究員 原田 繁

■アルプスシューズ■

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-18-17

電話：03-3949-0086 / 営業時間：9:00~8:30 / 営業日：年中無休

ホームページ



Facebook



Instagram



ALPSSHOES.SUGAMO

通りすがりの
お客さんからの差し入れ。
人情味溢れる巣鴨ならではの！





SFC 東日本支部補習講座 2022年6月23日(木) 東京・両国 国際ファッションセンター (KFC)

高齢者に見られる足の問題

講師：池澤 裕子 先生

永寿総合病院 整形外科部長

バチェラーコースでもご講義いただいている池澤裕子先生をお招きして、シューフィッターが知っておくべき「高齢者に見られる足の問題」をテーマにご講演いただきました。スライドを使いながらとても丁寧な説明で、改めて足の病気と障害について学ぶことができ、シューフィッターの重要性を理解する貴重な講演となりました。講演の一部をご紹介します。

報告者：SFC 東日本支部 岩瀬 和幸

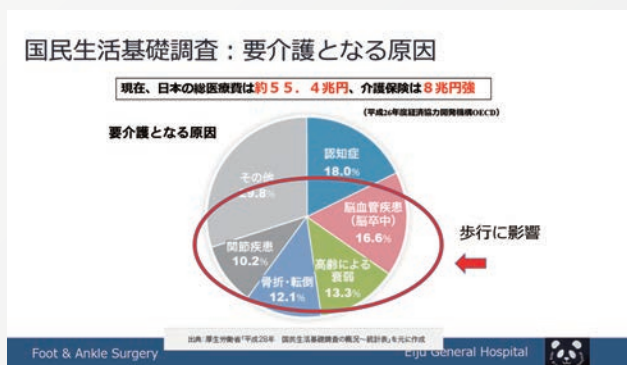
こんにちは。永寿総合病院、整形外科の池澤と申します。整形外科医にも色々専門がありまして、私は足の外科を専門としており、足の外科学会と靴医学会に所属しています。足と靴と健康協議会様には2018年から、バチェラーコースの講師として「足の病気と障害」を担当させていただいて、受講生からいつも色々な質問をいただき、私もすごく勉強になっております。「誰もがハッピーフィートでハッピーライフ」を仕事のスローガンとしています。好きなことは美味しいパンを探すことです。私は足が小さくて、21.5とか22cmなんですけど、なかなか靴が無いので、合った靴を探すのがブームです。

今日の講義は「高齢者に見られる足の問題」ということで、まず高齢者と運動器の重要性、また高齢者になると体にどういう変化が起こるのか、それから皆様が直接関わる足の病気ですね。膝とか股関節も病気になることがありますので、それがどう足に影響があるか、最後に高齢者の靴選びについてお話

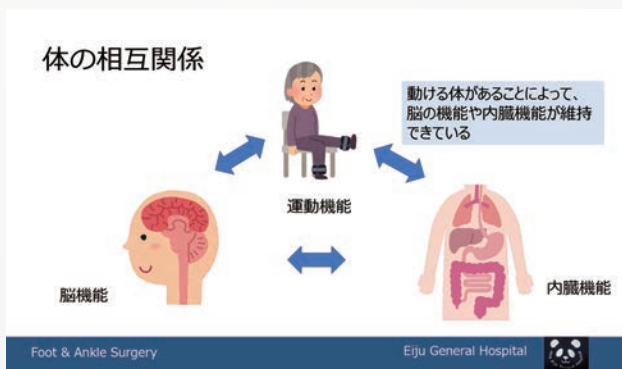
したいと思います。

1. 高齢者と運動器の重要性

日々高齢の患者さんの足を拝見していますが、日本人の平均寿命は女性が87.3歳、男性が81.0歳、健康寿命は(女性)74.8歳、(男性)72.1歳(2018年厚労省)で、高齢者の数が総人口の30%に迫ろうとしています。

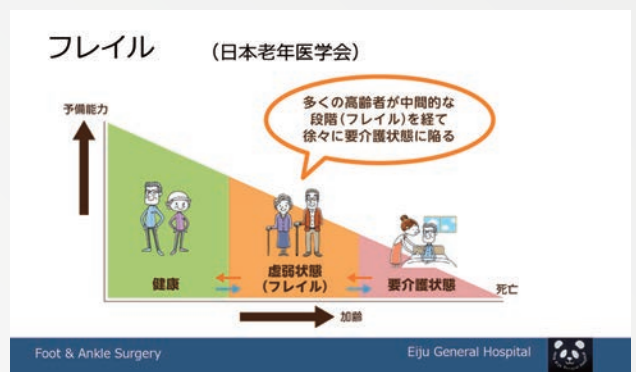


平均寿命は何歳まで生きられるかということですが。介護が必要なく、自分一人で健康に過ごせるのが健康寿命になります。そう考えると、女性は13年間、男性は9年間、誰かにお世話にならないといけない状況です。これをなるべく短くするのが日本の医療の課題ですね。介護保険とか財政の問題とか、高齢社会で、様々な問題が出てきています。要介護となる原因を調べている調査があります。一番はやはり認知症で、その他に脳卒中や高齢による老衰です。骨折や転倒、関節疾患で、歩行に影響するのが半数以上になってしまいうんですね。これらをなるべく少なくすることが必要になってきます。

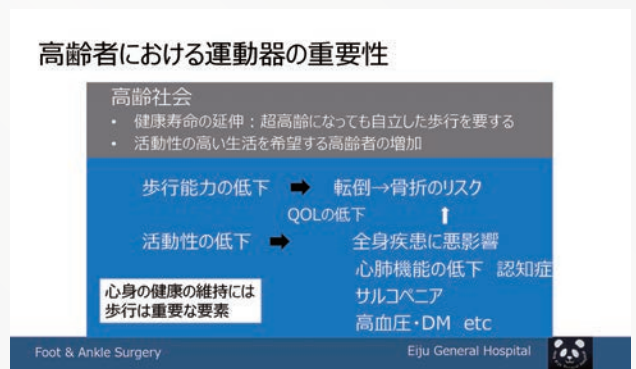


私たちの体はいろんな相互関係で成り立っています。歩いたり、動くことでお腹が空きます。また動くことで酸素をいっぱい吸い込みます。それによって内臓の機能が活発化されます。また動くことで社会参加ができる訳ですね。色々な人と交流したり、好きな事をしたり、それによって今度は脳の機能もしっかり活発になります。ただそれだけではなくて、やはり筋肉が動くためには、心臓からポンプの作用で血流を体の隅々まで送れなくてははいけませんし、吸収した栄養を隅々まで届けなくてははいけません。また脳も壊れると麻痺が起こったりします。しっかりとした脳の機能があることによって、私たちの体は動くようになっているのです。なので、このバランスが崩れてしまうと、体は維持できなくなります。

“フレイル”は健康と要介護の間ぐらいのことを言います。高齢化に伴う身体のいろいろな問題(体重減少とか歩行速度の低下とか)、色々な症状が生じます。こういう期間をなるべく少なくしたいところですね。一方“ロコモティブシンドローム”という言葉も聞いたことあると思います。“ロコモ”っ



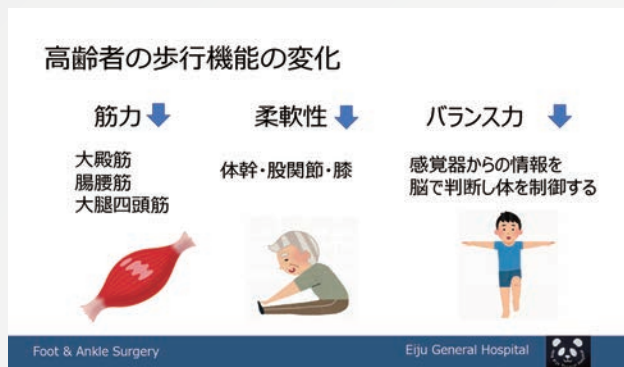
て言うのですけれども、移動するための能力が不足した状態をいいます。関節が痛んでしまう変形性関節症とか、骨折したりすると、だんだんと運動の機能が落ちていきます。筋力の低下が起こったり、バランス能力が低下したり、それがもっとひどくなってしまうと杖を使って、歩行に支障が出てしまう。それでもダメな場合は車椅子になって、介護が必要になってくる。そうなる前に何とか手を打てないか？ロコモチェックして未然に防ぎましょうと提言しています。人生100年時代、健康寿命が長いことは誰もが望むことだと思います。お元気な方は趣味でスポーツをしたり、旅行に行ったりとアクティブな生活を希望する高齢者が増加してきているのが現在の日本です。



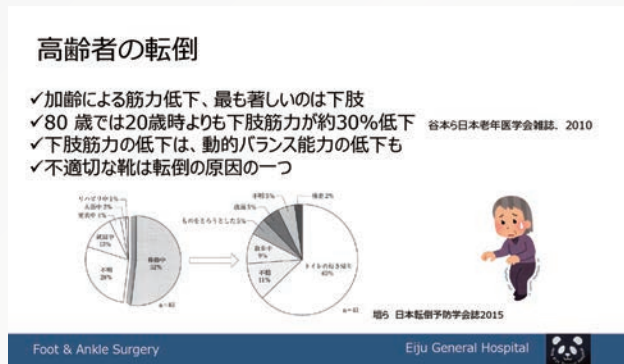
そういう状況で歩行能力が落ちてしまうと、転倒での骨折のリスクが高まってしまいます。一旦骨折してしまうとQOL(生活の質)が低下してしまいます。また活動性が低下することは、全身に悪影響を及ぼします。心臓や肺の機能が低下したり、認知症になったり、サルコペニアと言って、筋力が全体的に落ちてしまうこともあります。生活習慣病としての高血圧と糖尿病など、動けなくなることによって悪化させてしまう可能性が出てしまいます。心身の健康の維持には、やはり歩行はすごく重要です。

2. 高齢者の体の変化

加齢により、姿勢と歩容の変化が起こります。高齢者の歩行機能の低下には、主にこの3つがあるとされています。



足の筋力の低下、いろんな筋肉が全体的に落ちますが、特に歩行で重要なのは大殿筋ですね。あとは腸腰筋と大腿四頭筋ですね。これが脚の中で大きい筋肉なので、この筋肉が落ちてしまうと、歩行機能が変化してしまいます。あとは柔軟性、股関節と膝関節が硬くなってしまいうんですね。ずっと同じような姿勢になったりしますので、柔軟性が低下して、固くなってしまいます。残りはバランス力です。目が見えにくくなっている状態や足の感覚が鈍くなっている状態ですと、こういうバランス能力がさらに低下します。この3つが歩行を遅らせている原因になっています。



先ほど高齢者の方が転んでしまって、歩行の機能が落ちてしましますとお話ししましたが、高齢者の転倒原因は加齢による筋力低下ですね、下肢がやはり著しいです。80歳では、20歳の時よりも下肢の筋肉が約30%低下すると言われています。また、転倒の一つの要因として不適切な靴ですね。脱げて

しまう靴や安定しない靴は転倒の原因の一つとされています。転倒で多い骨折は大腿骨頸部骨折で股関節の骨折です。超高齢の方が一旦骨折してしまうと、命に関わる事になってしまうこともあります。歩行できていた方がこういう骨折を起こしてしまうと、いくら治療して骨がついても杖の生活になってしまったり、車椅子の生活になってたりして、施設に行かなくてはいけなくなってしまうこともあります。なので、やはり予防が大事で、運動機能はなるべく維持したいです。

3. 高齢者の足の特徴



全体的な運動器の話をさせていただきましたが、今度は高齢者の足の特徴です。関節が硬いです。足自体の筋力が低下している。あとは皮膚が薄いので、ちょっとした傷がでやすかったり、血流が悪くて少し青みがかったり、爪の異常もあります。あとは心臓が悪かったり、腎臓が悪かったりして、浮腫む方がいらっしゃいます。高齢者はいろんな病気が出てくるんですが、足もトラブルが出てきます。日頃外来で見ている患者さんに多い疾患をあげてみると、靴と関係するところでは、やはり多いのが外反母趾です。似たような形をしています。関節リウマチや強剛母趾、糖尿病足や足趾の変形、内反小趾のほかにも陥入爪があります。

外反母趾の場合、変形が強くなってくると履ける靴がなくて、大きな靴を履いていらっしゃることが多いです。皆さん靴の正しい情報がなくて、自分で選べないんですよ。家族の方に買いに行ってもらったりして、本当に合っていない靴を履いている方が多いです。あとは誤った履き方です。良い靴で合っている靴でも履くのが大変です。まず屈むこと自体が大変で、手が不自由になっていたりしま

すので、紐を結ぶ行為が大変です。

外反母趾の手術療法は、全身麻酔をしないといけないですし、その後のリハビリに関しても結構時間がかかります。杖をつけて歩く人の手術は、よく相談してという形になります。というのは転倒する危険があるからです。だいたい入院期間は2週間ぐらいで、普通に歩けるようになるのが一か月半ぐらいになります。高齢者はその間、足を着かないでずっと入院していると、どんどん筋力が落ちてしまうので、せっかく足をいい形にしても、歩きにくくなる方が時々いらっしゃいます。完治までは3か月程度です。高齢者の方はその方の元気さを考え、手術をするかしないかをよく相談して行っています。

4. 高齢者の靴選び

井口先生は私の前任のバチラーコースの先生ですが、靴が足に病気を起こす3つの原因として、本に書いていらっしゃいます。

靴が足に病気を起こす3つの原因

1. 足に合わない靴、ファッション性が強すぎる靴、壊れた靴
2. 靴が足を護りすぎるため、獲得された能力、耐久性がない
3. 靴が歩行能力を高める働きがあたとなり、負荷をもたらす

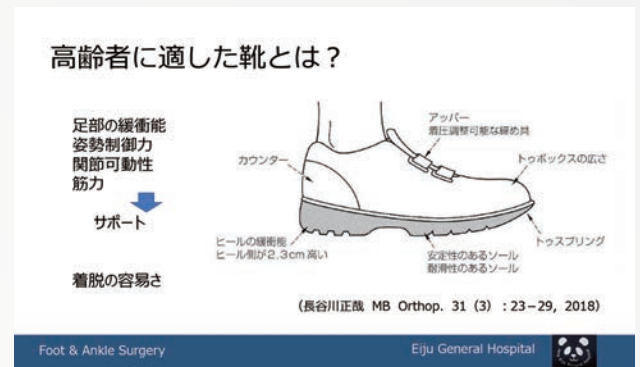
井口 僕「靴でなる疾患、靴で治る疾患」より

1つ目は、足に合わない靴、ファッション性が強すぎる靴、壊れた靴を履くこと。2つ目は、靴が足を護りすぎるため、本来の能力、耐久力が劣ってしまうこと。3つ目は靴が歩く能力を高め過ぎてしまって、どんどん歩きやすくなってしまいうために、かえって負荷をかけてしまう。この3つをおっしゃっています。

高齢者の靴の実際ということで、サイズの調査をした報告では、自称サイズと着用サイズの一一致率がなんと51%でした。二人に一人は合っていないサイズを履いているって事ですね。また、同じ足長でも、足幅に左右差がある方が多いようです。そこはシューフィッターの方々の腕の見せ所だと思います。この調査で明らかになったのですが、高齢者は

軽量で足当たりが柔らかく、履きやすい大きめのサイズの痛くない靴を選んでいらっしゃるようです。結局こういう不適切な靴が、足の障害、もともと健康な足の高齢者もいらっしゃると思いますが、そういう方の歩行能力を落としてしまっているのかもしれないですし、もともと外反母趾の方とかいろんな病気を持っている方ですね、そういう方の障害を悪化させているかもしれません。あとは不適切な靴を履くことによって、転倒の可能性が高まりますので、これは適正にすべきだと思います。

5. 高齢者に適した靴とは？



高齢者に適した靴って何でしょうか。長生きして、ご自身の足で最後まで歩いていただきたいと思うと、それをサポートできる靴が重要になってくると思います。足の感覚が鈍くなったり、バランス能力とか関節の動きとか、筋力低下があるために、足部の衝撃を緩衝する能力が落ちていきます。地面に接地するときには衝撃吸収してスムーズな重心移動ができるソールが負担なく、歩きやすいと言われています。また踵を支持するカウンターが必要です。アッパーでは、足を一体化させるために調整が重要になってきます。むくみの話をしましたが、朝は大丈夫だけれども日中にむくむことも多いので、調整できる靴が望ましいと思います。紐靴ですと高齢者は紐を結ぶのが面倒くさかったりとか、うまく結べないので、ベルトなどで調整できるタイプがいいと思います。

肥厚爪だったり、趾が曲がっていて動きが制限されている方が多いので、痛みが出ないようにトゥボックスを広く、そしてトゥスプリングが高いタイプだと、摺り足歩行が多い高齢者で足首をしっかり背屈できなくても、つまずきにくくなります。

最後に安定性があって、なおかつあまり硬くなく接地面積が広いソール、あとは転倒予防のために滑りにくいソールを選んでいただくことが必要です。

いい靴があっても正しく履けないと意味がありません。正しく履けて容易に脱ぎ履きができる靴が望ましいです。高齢者の方は立って履かれる方もいらっしゃるでしょうし、玄関に座って履く方もいらっしゃるでしょう。お家の事情とかも含めて、靴の履き方も指導できるといいと思います。あとは適正なサイズが重要です。年を取るとサイズが変わりますので、シューフィッターさんが測り直してあげる。計測が容易にできるといいと思います。それと、健康診断などで足のサイズを測ってもらえるといいと思います。

日本の高齢者の認知症は、2020年の調査で602万人、65歳以上の人口の6人に1人が認知症らしいんですね。認知症ケアで有名な「ユマニチュード」という考え方があり、四つの柱があります。「見る」「話す」「触れる」それによって認知症をケアしてあげる。最後の一つが「立つ」ことなんですね。人間は立つことで人としての尊厳を自覚するようです。自分が初めて立った時の記憶ってありますか？残念ながらないんですね。自分のお子さんが初めて立った時、皆さんどうでした？すごい嬉しかったんじゃないかと思います。私たちは何も教えられないで立って歩けるんですね。それも他の動物と違って二本足で歩いています。いつまでも自分の足で歩きたいというのは誰もが思うところです。皆さんはお客様の靴を選ぶことになるとは思いますけれども、足も見ていただいて、大事な足を護る靴を通して、その方の生活とか、人生を手助けする一員になっていただきたいと思います。

6. シューフィッターの方に期待すること

シューフィッターの方に期待すること

- 足の計測
- 適切な靴の提供
- 靴の履き方指導
- フィッティング
- 靴や足の健康に関する情報提供
- 明らかな足の変形・痛みをみつけたら
整形外科のある病院・診療所をすすめる

超高齢社会において
貢献度大

Foot & Ankle Surgery Eju General Hospital

シューフィッターの方に期待することです。患者さんが病院にいらっしやらないと何もしてあげられないのですね。私達の所に来るという事は、もう病気になるってしまっている状態ですので、予防が非常に大事になってくると思います。予防という観点から言うと、医師とか医療関係者が、高齢の方にいろいろお話ししたり説明したりすることはできますが、実際はシューフィッターの皆さんがより身近にいらっしやるとは思います。ぜひとも足の健康、人生100年の時代に自分の足でいつまでも歩いていただくために、高齢の方にアドバイスしていただきたいと思います。

足の計測は本当に重要だと思いますので、お忙しい中大変だと思いますが、測ってあげたり、適切な靴を提供したり、靴の履き方の指導ができればいいと思います。高齢者の方は手が不自由であったり、目が見にくくなったり、足が硬くなったりしますので、その方に合わせて履き方を指導できればいいと思います。フィッティングの調整は皆さんの腕の見せ所だと思うので、可能な範囲でやっていただければと思います。また、靴や足に関する情報の提供や運動指導、今日お話ししたことをアドバイスいただけたら良いです。明らかな足の変形だったり、痛みが強い方は整形外科のある病院を勧めていただきたいと思います。

超高齢社会において、皆さんの貢献度は大きいと思います。患者さんには「シューフィッターのいるお店で靴を選んでもらうといいですよ」と言いますが、高齢者の方はシューフィッターがどこにいるか分からない方が多いのですね。若い方ならネットを見て探しますがそれも難しいので、靴を販売されているところはどこでもシューフィッターさんがいるといいのですが…。高齢者の方に“シューフィッターがこのお店にいますよ”っていうことを、皆さんがアピールしていただいて、足で困っている方が行ってもらえるといいと思います。

本日はご清聴ありがとうございました。

池澤 裕子 (いけざわひろこ)

公益財団法人
ライフ・エクステンション研究所附属
永寿総合病院 整形外科部長

〒110-8645
東京都台東区東上野 2-23-16
Tel 03-3833-8381
Fax 03-3831-9488
e-mail ikezawa_h@ashitokutsu.com

第 25 回定時総会概要報告

2022年5月24日（火）午後2時～4時、台東区民会館9階「特別会議室（大）」において第25回定時総会を開催。久世泰雄代表理事が議長、神部俊平専務理事が詳細報告をつとめ議案審議が行われた。

【定足数の確認】

会員総数 36社 出席総数 32社（出席 16社、委任状 16社）

【来賓挨拶】

経済産業省 製造産業局 生活製品課 課長補佐 飯島 寛之 様よりご挨拶。
一般社団法人 日本皮革産業連合会 専務理事 白川 一雄 様よりご挨拶。

【議案審議】

- 第1号議案 2021年度事業報告書承認の件
Ⅰ概要 Ⅱ会員の状況 Ⅲ各分会事業報告
・シューフィッター部会、シューフィッタークラブ部会、情報交流部会、新規事業部会
- 第2号議案 2021年度決算報告書承認の件
同、会計監査報告
(監事) 富田 常一、山口 和彦
- 第3号議案 2022年度事業計画（案）決定の件
Ⅰ概要 Ⅱ基本方針 Ⅲ各分会事業計画
・シューフィッター部会、シューフィッタークラブ部会、情報交流部会、新規事業部会
- 第4号議案 2022年度収支予算（案）決定の件
神部専務理事 議案書に基づき詳細説明



【報告事項】

神部専務理事より報告

日本靴小売商連盟のシューフィッター養成事業は、本年2022年より認定事業を含む全てを当会に移管することになった。

久世会長より

シューフィッターをこれまで以上に増やすため、広くご意見を頂きたい。皆様のお力をお借りして一人でも多くのシューフィッターが靴選びのお手伝いができる環境をつくり発展させていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



靴選びにも活かせる！ パーソナルなサービスとは

講師：菊原 亜紀江 先生

紀尾井の杜倶楽部 ソーシャルスタイルディレクター

ファッショントレンドの仕事を長年続けてきましたが、コロナ禍で海外へもなかなか行くことができず、その機会を持ってなくなっています。トレンドは自分の目で見るのが大事であり、トレンドを知ることにより、目の前にいるお客様にどのように提案できるかが重要であると考えます。本日は、そのような視点を持ちつつ、トレンド以前のパーソナルについてお話させていただきます。

報告者：SFC 東日本支部 増田 京子



1. パーソナルとは？

マスマーケットからパーソナルマーケットへ

どれだけたくさんの人に満足してもらえる商品を作るかということに注力し、長年マスマーケットに対して商品企画を行ってきました。企業と取り組む中では売上をつくることは大事ですが、今の時代はもっとパーソナルに特化する必要があるのではないかとの思いが強くなり、マスマーケットからパーソナルマーケットに取り組んできました。顧客一人一人に対応するという点では、シューフィッターもパーソナルな仕事であり、共通点やヒントが多くあると思います。相反するように見える二つのマーケットですが、パーソナルな対応を行うことでマスマーケットにも繋がり、実は表裏一体であるということがわかりました。

「紀尾井の杜倶楽部」設立

「杜倶楽部」の名前の由来は、創業の地である紀尾井町に由来します。2020年の立ち上げ当初は、コロナ禍も重なり、あえて店舗を持たずに自由がきくホテルのスイートルームを利用した定期的なサロ

ンを開催していました。その後、2022年3月に渋谷の東急百貨店本店2階にサロンを開設しました。

パーソナルオーダーサロン「紀尾井の杜倶楽部」
お客様とコミュニケーションをとることから始めます



パーソナルオーダー、セミオーダーのサロンとしてレディースから立ち上げたサロンですが、一人一人のお客様にじっくり向き合うことでリピーターが増え、メンズも取り扱うようになりました。自身を外見で表現したい顧客に対応して、ジャケットを中心とした装いなどの提案をしています。具体的には政治家や講師など人前で講演をする方や企業経営者が多く、スキルを活かして起業した方が相談に来ることもあります。

【世代の特徴】

- ・ 昭和 30～40 年に青春時代を送った世代で映画の影響がとても大きかった。
- ・ ハレとケの意識が高く、人前に出る服は特別なものという意識が強かった。

※ハレ…祭礼や年中行事などの非日常
ケ…普段通りの日常

- ・ 身ぎれいにすることは、外出（人と会う）のマナーと考える世代。
- ・ 買い物が大好きで、根底にモノを大切にす価値観、購買後のフォロー（修理・調整など）を重視する。

【靴の特徴】

- ・ 出かける時は、若い頃のようにハイヒールのパンプスは履けないが、きちんとお洒落することが礼儀と心得る。
- ・ ファッションポイントは楽に華やか、飾り付き・装飾感、エレガントな底回り、履き口、足入れのやわらかさ（1年中ストッキング）、小足に見えること。
- ・ 改まった席に参加できる華やかな靴は素材感を大切にし、紐靴はコンフォートシューズみたいとの理由で敬遠される方が多い。

お友達とランチが楽しめるスニーカーとして、ホテルのラウンジに気後れせずに入れるおしゃれ感、シルエットはごつくないものが好まれます。小柄な方も多いため、体型とのバランス感を見た提案をします。

②団塊の世代：（60代後半）70代前半～



【世代の特徴】

- ・ カジュアル世代、ヒッピースタイル、デニムファッション、若者文化のムーブメント。

- ・ 生き方も装いも、私らしさ（個性）を求める世代。
- ・ ファッション+ライフスタイルカルチャーを体験していて、将来について考えながらもまだまだ現役意識が高い。
- ・ New アイテムへの関心も強く、装いは自分らしさを活かしながら時流感のある着こなしへの可能性・ポテンシャルも知りたい。
- ・ 体型カバー・スタイルアップ、コーディネート提案が需要の掘り起こしに最も重要な世代で、パーソナルなお洒落への欲求が強い。
- ・ 年齢で区切られたくない。
- ・ 若い世代の情報を知っており（娘孫から・TVから・SNSから）、旅需要も多い。

【靴の特徴】

- ・ トラッドであってもどこかに新鮮さ、軽やかさが必要で、（底回り、素材感、色使い）スニーカーとシューズの中間的デザイン、スニーカーとパンプスの中間的デザインも多い。
- ・ ボリュームボトムスとのバランスが重要で、デイリースタイルの気楽さ&お洒落感（色・素材の新鮮さ）、ホワイトソールへの抵抗もない。
洋服に比べて足元の靴への気遣いに欠けるため、足元を変えることで着こなしがさらに洗練されることを伝えます。

③バブル世代：50代～60代前半



【世代の特徴】

- ・ スーツ & パンプスで遊びに行き、DC ファッション、インポートファッションを身に着けていた。
- ・ 私の人生は私が創る「理想の私」を求めてまだまだ頑張る世代。
- ・ 洋服とのバランスを大切に（特にボトムス）、ワンポイントの華やかさ、いくつになっても女性らしくいたい。

【靴の特徴】

- ・足が痛くならない綺麗なエレガントパンプス、年齢に相応しい品格、女性らしさ、エレガントな上質プレーンパンプスを好む。
- ・ヒールタイプ訴求の一方で、ローヒールエレガンスの提案も重要（スニーカーも含めて）。
- ・20代からエレガントパンプスを愛用していたため、スニーカー（カジュアル）に苦手意識を持つ方も多く、カジュアルファッションの迷走が見受けられる。

ひとりの女性が様々な靴種を取り入れる世代のため、いかに顧客様の志向を捉えた靴種のバリエーションを提案できるかが問われます。

④ 団塊ジュニア・ポスト団塊ジュニア世代：40代

（団塊ジュニア／1971年（52歳）～1975年（47歳）生まれ）

（ポスト団塊ジュニア／1976年（46歳）～1981（41歳）生まれ）

- 未来の幸せな家族のあり方を提案
- ハッピー・楽しさ・ワクワク感
- アウトドア・グランピング
- SDGsへの関心が高い
- シンプル
- ファミリー・アンサンブル
- 企業のCSRへの関心
- 次世代（子供の世代）へ繋ぐ取り組み・スポーツ・エコ・ボランティアなど活動を通じた体感型教育＝おしゃれも楽しむ




【世代の特徴】

- ・ ゆるりと心地よく今を楽しむ世代で、決めすぎないお洒落が好き。
- ・ 働く日も休む日もリラックス感を大切に。
- ・ 汎用性の高いシンプルなアイテムの組み合わせを好み、リモートワークによりカジュアル化が加速した。
- ・ ONにもOFFにも対応可能スタイル。



菊原 亜紀江（きくはら あきえ）

紀尾井の杜倶楽部 ソーシャルスタイルディレクター
繊維業界（カネボウファッション研究所）から皮革業界へ転身。繊維業界ではファッショントレンドのリサーチ、百貨店や専門店のディレクション作成、ブランディングやコンセプトワークを手掛ける。

主な業務経歴

- ・ トレンドリサーチ：ファッション、リニアペレ（国際見本市）
- ・ 素材開発：皮革加工、テキスタイル
- ・ 商品企画：シーズンプラン、顧客分析、サンプル検討、販売員へのレクチャー
- ・ セールスプロモーション：店頭イベントやフェア、グループインタビュー、広報活動、コーディネーター、アビプランスケア

- ・ デザインのキーワードは、シンプル＆リラックス。
- ・ 仕事も家庭も両立、家族での時間を大切に、若い世代になるほどパパも家事・育児に積極的に参加する。

【靴の特徴】

- ・ カジュアル、テイストミックス、高汎用パンプス、ローヒール、さりげないデザインアクセントを好む。
- ・ 締め付け感を好まない素足世代で、機能＆デザイン性の見える化訴求は必須。
- ・ 履き心地の良さを叶える機能性とファッション性を求める。

⑤ デジタルネイティブ・Z世代：20代～（30代）

（Z世代／1995年（27歳）～2010年（12歳）生まれ）



- ジェンダーレススタイル
- スーチングカジュアル（セットアップ）
- 意外とシンプル好きでもある
- 映える・バズる！
- Re-Style→
親世代のスタイルが新鮮

【世代の特徴】

- ・ あらゆるモノ・コトがデジタルワールド当たり前の世代。
- ・ インターネットが最も発達した時代に育ち、生まれたときからデジタルが当たり前のため、コミュニケーションの手法も消費の仕方も情報の入手もデジタル。
- ・ 一方でアナログの世界を新鮮に感じる。
- ・ アップサイクル、カスタマイズ、サステナブル、SDGs 的打ち出しに共感する。
- ・ メタバースファッションにより、仮想空間の中で現実が繰り広げられている。

ビジネスの確実性を求めて。 新定番をベースとしたクリエーションが主流に

(株) ジャルフィック チーフエディター 岡村 嘉子

22～23年秋冬シーズンに向けた世界最大のシューズの見本市・ミカムが、3月13日から15日までの3日間、イタリアのミラノにて開催されました。

最初のアナウンスでは2月下旬の開催予定でしたが、コロナ禍におけるさまざまな困難によって、日程が延期されたのではないかと想像されます。アジアはもちろん、2月24日にロシアによるウクライナ侵攻が始まったことで、ロシア圏からの集客も難しくなり、厳しい条件下での展示会となりました。

出展社は821ブランド。まだ例年通りとはいきませんが、先の22年春夏シーズンよりも、出展社数および来場者数ともに増加傾向にあります。

また引き続き、同展に加え、バッグを中心とした革小物の展示会「ミペル」、女性のプレタポルテファッションの「THE ONE MILANO」等の4つの展示会が# BETTER TOGETHER というスローガンを掲げて協働。日程を重ねながら同じ場所で展示を行うことで集客力を向上させました。

「アイテムの集約化。ディテールによる差別化が中心」

世界を止めた新型コロナウイルス感染症の拡大化はようやく収束してきたものの、東ヨーロッパでの戦争の始まり、それに伴う物価の高騰等により、社会的な不安感蔓延したままです。ロシアのウクライナ侵攻から程なく開催されたミカムでは、今の不安定な社会状況を反映して、確実に売れるものを捉えようとする意識が顕著に表れています。アイテムは集約され、各ブランドに共通して見られるものが多く、直近の春夏シーズン用の商品も展示されるなど、新たな気分を感じるには難しい展示会となりました。このような状況にあっても、ディテールのデザインで差別化を図ろうとするさまざまなアイデアには、各メーカーの努力が感じられます。

全体のデザイン傾向としては、引き続きミニマル＆ベーシックな流れが継承され、コロナ禍以降いっそう顕著となった、日常に快適性の高いプロダクトが数多く提案されました。

今シーズンは、今後の大きな流れとなることが期待されているブーツへの傾倒が顕著となっています。そして

レディスだけではなく、メンズにも同様のことが感じられます。

すでに市場にも広がっているボリューム感のあるソールを搭載したショートブーツはもちろんのこと、ロングブーツの提案が多いのも特徴です。特に後者はスタイリングにおける新鮮さに期待が持たれ、具体的な受注数も好調に推移している様子が窺えます。

他の先進国に比べると景気回復に時間を要している日本に対して、イタリアのシューメーカーは「日本では高い商品は売れない」、あるいは「黒しか売れない」等の実感を率直に語るようになりました。またコロナ禍を経て日本では流通の淘汰も進んでおり、取引先の変容について不安を持つメーカーも見られます。

グローバルに見ると、著名なラグジュアリーブランドに限らず、きちんとした技術で作られたクオリティの高いグッドプロダクトを求める（提案しようとする）流れが浮上している中で、これが日本でも目に見える流れとして登場するのか、注視したいところです。

FORM & ITEM

「ショート、ミドル、ロング。ブーツの豊富な選択肢」

ほとんどのブランドで基本アイテムとして展開されているのがサイドゴアブーツ、さらにジョッキータイプをベースとしたロングブーツも多く見られます。

前者にはさまざまなボリュームのラギッドソールが搭載され、ゴア部分のデザイン的なアレンジや新しいカラー展開、そしてショートからミドルまでの筒丈と、選択肢は豊富です。これは新しいベーシックアイテムの一つと言えるでしょう。後者もベーシックではありますが、ジッパーのつけ方、あるいは縫い割りの処理等、ディテールにこだわることで、新鮮な雰囲気を漂わせます。併せて、カジュアルな気分で履きこなすことのできるようなオーバー

ニーブーツも好評を得ています。

依然としてヒールつきのエレガントなアイテムの提案はパンプス及びブーツともに乏しく、一方で日本では通勤靴としても広く普遍化しているローファータイプが増加傾向にあります。このローファーの横に並ぶ商品として、チロリアンシューズやウイングチップ等のアイテムの広がりも感じられます。

このアイテム傾向を受け、トウラインはややボリューム感のあるラウンドタイプが主流です。また、よりモード性にアプローチしようとするブーツの中では、スクエアトウや伸びのあるポインテッドトウのラストも見られます。



ウエスタンブーツのディテールを取り込んだシンプルなロングブーツ。女性らしいポインテッドトウがポイント (CORSO ROMA 9)



ボリューム感のあるミドル丈のサイドゴア。ウインターホワイトとするサンドカラーが人気 (MANOVIE TOSCANE)



ボリューム感のあるローファーはラストに合わせたスクエアリッシュなモカが特徴的 (MI/MAI)



ウイングチップをモディファイ。星形のパンチング素材がポップな雰囲気 (DANSI)

MATERIAL & COLOR

「明確な特性を持つ基本素材を定番色ブラックで見せる」

足にとっての快適性という視点から、ソフトな素材に注目が集まっていますが、今シーズンもその流れを受けて柔らかなナッパレザーの登用が目立ちます。コレクション全体をナッパ素材で展開するブランドもあり、カーフでも非常に柔らかな質感のものが使われる傾向が顕著です。起毛素材はシルキースエードや艶やかな毛足のヘアードカウといった、エレガントな佇まいのものが魅力的に映ります。

一方、ナッパ素材のマットな質感とコントラストするものとして、ガラスレザーやエナメルといった光沢感の際立つ素材も重要となっています。

保守的なムードの今シーズン、カラーは定番色が

中心です。中でもブラックが突出しています。前出のキャラクターのはっきりとした基本素材の中で、ソリッドなブラックが力を発揮しているといった印象。これに、オフホワイトやライトベージュを加えることで、今のムードが表現されています。また、ダークブラウンや赤みのブラウン等、ブラウン系の色味は豊富です。中でも、ゴールドのような印象を持つオーク系のカラーには華やかさを感じます。

ストリートでもトレンドカラーとして浮上しているグリーンを意識したオリーブ系のカラー、あるいはワイン系のカラーの提案も随所に見られますが、バイヤーからの現実的な反応は鈍いとのこと。



人気のモデルをナッパ素材で提案。
足当たりの良さが好評 (LUCA GROSSI)



オリーブカラーのナッパでクラシカルな印象の
レースアップブーツを仕立てる (NEBULONI E.)



グロッシーなしわエナメルがエッジの効いた
スクエアトゥを際立てる (DANIELE ANCARANI)



手仕事感のある仕上げで見せる
ダークなグリーン (CALPIERRE)

DETAIL & ORNAMENTATION

「控え目ながら独自の趣向で新鮮に」

ベーシックなデザインを、アッパーとソールで構成するシルエット、あるいはディテールの工夫で刷新しようとする傾向が強い今シーズンは、目新しい装飾を発見するのは難しい状況です。そんな中でも、サイドゴア、ローファー、ジョッキーフーツといった、オーセンティックなアイテムのディテールにユニークなアイデアが見られます。

サイドゴアブーツには、隠しゴアや曲線的なアイコン力のあるゴアが、ローファーにはヘビモカと呼ばれるボリューム感のあるモカの仕様が增加しま

した。ジョッキーフーツはステッチを隠すことで女性的でソフトな印象を創出したり、ウエスタンブーツ風の切り替えを持ち込んだり。控え目ながら、趣向を凝らしたデザインが魅力的です。

またその他にも、ビット代わりのオーナメントやチェーン、大きなキルティタッセル、ダブルモンク風のベルト等、トラディショナルな靴の装飾をモチーフとしたアイデアも引き続き多く見られます。クラフト的な装飾としては70年代を思わせるかがりステッチが印象的でした。



ウエスタンブーツを思わせる隠しゴアのデザインが差別化のポイント (CORSO ROMA 9)



革味が光るユーチップブーツ。スクエアなラストとダブルモンク風のベルトが個性的 (MARETTO)



シンプルなローファーにヘビモカのボリューム感が効く (LUCA GROSSI)



かがりステッチがアクセントとなったバックジップブーツ。70年代の雰囲気 (MI/MAI)



岡村 嘉子 (おかむら よしこ)

大学卒業後、ジャルフィックに入社。新業態研究誌「Zerohour」の編集に携わり、衣・食・住・遊にわたるさまざまな新コンセプトショップの取材・執筆を経験する。現在はシューズ&バッグに関する機関誌「JALFIC」の企画・編集及び、トレンドセミナーや海外見本市レポートセミナーなどで講演を行なう。流行色情報センター (JAFCA) が発行する「流行色」にもシューズ&バッグトレンドについて執筆中。

第21回バチェラーコース認定者一覧(2022年5月6日認定)



| 氏名 | 会社名 |
|--------|------------------|
| 藤城 佐知子 | 株式会社溝口製作所 |
| 津端 裕 | アキレス株式会社 本社 |
| 徳永 みどり | H.P.S. 唐人町店 |
| 松本 優菜 | 株式会社金星商店 西山靴研究所 |
| 茂木 智仁 | 株式会社サンドリームファクトリー |
| 石鍋 純 | TUTTI |
| 織田 順子 | 福祉用具セレクトショップりんりん |

| 氏名 | 会社名 |
|--------|------------------|
| 野澤 朋宏 | 株式会社 fitfit |
| 和田 梓 | 株式会社丸井 有楽町マルイ |
| 山中 直美 | 株式会社 fitfit |
| 鈴木 真由美 | 株式会社かねまつ 銀座6丁目本店 |
| 岩野 すみれ | 株式会社 fitfit |
| 竹内 雅徳 | 合資会社竹内商店 |
| 伊藤 真理 | マルイグループ |

| 氏名 | 会社名 |
|--------|--------------------|
| 星野 喜美代 | アキレスリテール株式会社 新潟伊勢丹 |
| 谷上 遼太郎 | 株式会社ニューバランスジャパン |
| 藤原 健太郎 | アシックス商事株式会社 |
| 石塚 美和 | Epanorthun |
| 藤井 裕子 | |

(19名認定)

(受講者の声) プライマリー取得から既に13年あまり、足型計測も2D、3D計測器に頼ることが多くなり、自身の未熟さを痛感したのが受講のきっかけでもありました。バチェラーの足型計測では、立位でのペダル型作成に留まらず、座位立位での測定とレポート、フットプリントなど、技術、知識、見識の深堀にも繋がり、他にも多岐にわたる講義、課題は、正直かなり大変でしたが、最後の認定試験、そして合格まで辿り着けたのは、ひとえに講師の方々の熱のこもった講義と、コロナ禍でも常に親身にご対応戴いた事務局の皆様のおかげであります。今後も講義中に戴いた言葉“資格者には信用と責任が伴う”を常に肝に銘じて、合格者全員、各々の分野でさらに知識、技術を磨きながら、今まで以上に顧客のため世の中のために頑張っていければと思っています。

アキレス株式会社 津端 裕

第11回シニア専門コース申込み受付中

日程：2022年11月8日(火)、9日(水)
会場：東京・両国 国際ファッションセンター
受講料：72,600円(税込)



第14回幼児子ども専門コース申込み受付中

日程：2022年12月8日(木)、9日(金)
会場：東京・両国 国際ファッションセンター
受講料：72,600円(税込)



第23回バチェラー(上級)コース申込み受付中

日程：2023年7月～2024年3月
スクーリング3日間×3回
・7月26日(水)～28日(金)
・11月15日(水)～17日(金)
・2024年3月13日(水)～15日(金)
会場：東京・両国 国際ファッションセンター
受講料：286,000円(税込)



足の神様と「くつ祭り」足型計測会

5月2、3日の2日間、大阪府豊中市の服部天神宮でのイベントでマスターシューフィッターを中心に足型計測会が開催されました。

服部天神宮は、ここで菅原道真公が足の病から回復して、太宰府まで無事到着したことにちなんで「足の神社」として知られています。

2日間とも計測待ちの行列ができ、整理券を配布するほどの人気で、足の計測への関心の高さを肌で感じるこのできるイベントとなりました。

ご参加いただいたシューフィッターの皆様お疲れさまでした。ありがとうございました！



※日程は変更になる場合がございます。

※シューフィッター検索に掲載しているご登録内容をご確認ください。
シューフィッター検索 (<http://fha.gr.jp/search> [左記QRコード])
の絞り込み検索欄にお名前をご入力いただくと検索ができます。
掲載内容に変更がある場合や掲載を希望される場合は、事務局までメール又はFAXでお知らせください。



※勤務先や自宅住所等を変更した時は必ず事務局までご連絡ください。
連絡が無い場合はトレデュニオンや補習講座、資格更新の案内等をお届けできない場合があります。

ホームページ FHA/SFC 会員専用パスワード：kmhs7646

○・・・トレデュニオン・・・○

“トレデュニオン”は、フランス語です。英語ではHyphen(ハイフン)にあたります。FHA事業理念をもとにFHA会員、SF、SFC会員の相互を密接に結ぶ情報誌という意味で命名しました。

No.70(通算105号) 2022年8月1日発行
編集・発行 一般社団法人 足と靴と健康協議会
〒111-0032 東京都台東区浅草7-1-9
Tel. (03) 3874-7646 Fax. (03) 3875-0880
Email fha@tokyo.email.ne.jp URL <http://www.fha.gr.jp/>
※ 禁・転載複製

表紙デザイン：株式会社ジャルフック 池田 正晴